

ありがとうの中藤

学校便り第5号

令和4年9月13日

福井市中藤小学校



4月から早半年が経ち、令和4年度の折り返し地点を今過ぎようとしています。4月当初、日々の生活の中で人に感謝できる心や態度を育みたいと考え、「ありがとうの中藤」を学校のキャッチフレーズに掲げ、皆で目指す「学校目標」としました。みなさん、いかがでしょうか？この目標が目指す精神を意識しながら、毎日生活することはできていますか？

正直なところ私的には、「まだまだかな。。。と感じる場面や出来事が浮かびます。例えば、登下校時みなさんの安全指導を毎日行ってくださっている見守り隊の方への挨拶の声は、決して「合格点」ではありません。依然として、声を返さず黙ったまま通り過ぎる人がいます。なぜ、挨拶ができなのでしょう？なぜ、相手が「心の扉」をノックしてくださっているのに、その想いに素直に応えることができないのでしょうか？「素直さ」は人生をより豊かに輝くものにします。そして「挨拶」は、世の中に出て一番に求められるものです。ぜひ、「素直さ」と「挨拶」を大事にできる人になってください。

また、6月の朝礼で「くまのけんじ君」の話をしました。友達からいじめにあっていて、学校へ来たくても登校することができない状況について話をしました。しかし、依然として友達の嫌がることや傷つくことを言ったりしたりする人がいます。なぜ、相手が悲しい想いや辛い想いをすることを平気とするのでしょうか？なぜ、「人の迷惑になる、ならない」を基準として、自分の行いや言葉をしっかりとコントロールできないのでしょうか？赤十字の祖と言われるアンリー・デュナンの「苦しむ人の存在に気づき、相手の立場になって考え、できることを実行する。」の精神を一人ひとりがぜひ大事にしてほしいです。

「学校」というところは、新しい知識や視野を学んだり、未体験のことを経験したり、仲間と協力しながら何かを創り上げることの楽しさを感じたりしながら、心とからだを成長させるとても意義ある場所です。そして、一人の大人として社会に出るための準備をしっかりとすることです。でも、一番大事なものは、「人として」大切な心や生き方を自分なりに確立（自立）するところだと私は考えます。この中藤小学校で「ありがとうの中藤」づくりを共に目指しながら、心豊かで、思いやりの心のある人へ成長してほしいと切に願います。

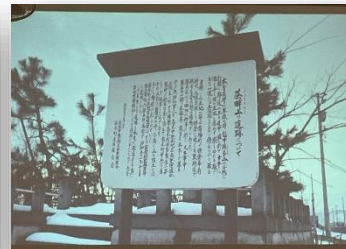
中藤小学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<8月28日(日)「交通安全茶屋」が行われました>



夏休み最後の日曜日の朝、高木のJA駐車場で「交通安全茶屋」が行われました。本校からは、6年生がボランティアとして参加し、安全運転の呼びかけと手作りパネルでメッセージを送りました。警察の方によって呼び止められた運転手の方たちは、最初何事かと驚いた様子でしたが、「中藤っ子」の可愛い笑顔と優しい心が伝わると、皆一瞬にして表情が明るくなり「ありがとう。」の声が返ってきました。やはり、「ありがとう」の言葉は、社会を明るくすると再確認できたひとときでした。

<中藤島地区の昔についてお話を聞く会開催>



9月9日（金）吉田長幸様が来校してくださり、3年生を対象に「昔の話を聞く会」を開いてくださいました。総合学習の一環として実施されましたが、「ふんど様のイボとり木」の紙芝居を通して、さるすべりの木、白山神社、舟橋の由来、茶畔山遺跡などについて学ぶことができました。子ども達からは、「イボとり木は、いつできたの？」や「イボとり木は、今でもイボが取れるの？」など、とても可愛い質問があり、和やかで素敵なひとときを過ごすことができました。また、自分たちの「ふるさと」について、少し興味関心を抱けたとても良い機会となりました。吉田様、お忙しい中本当に「ありがとう」ございました。

図書室の本の貸し出し数が 11,560冊を超えました！

今年4月から7月までの間に、子ども達が本校の図書室で本を借りた総数が11,560冊を超えました。毎年橋爪寛一様から多数の図書をご寄付により頂いていますが、その想いに応えるかのように、子ども達は毎日多くの本を借りて読んでいます。「読書は、心の栄養源」とも言われています。ぜひ、多くの書籍と出会って、視野を広げ、人間力を伸ばしてほしいと思います。



<各学年のフロアーには、様々な活動の歩みが展示されています。>



1年：アイデア貯金箱



2年：町探検の報告



3年：わくわくランド



4年：テーマ別班新聞



5年：夏休み自由研究



6年：色別旗の製作